

相談記録の記載について

各項目について、選択した番号を必ず右欄に記入してください。

- <初・再・常・頻>
常は常連で、よくかかってくるが1ヶ月間に平均週1回未満。頻は頻回で、平均週1回以上を目安に記入願います。かけてくる人は経験的にわかるようになると思いますが、わかったらつけてください。
初めてか、これまでにかけたことがある人かは話し方で見当をつけて下さい。
- <受付番号>
1日の通し番号です。
- <年齢>
おおよその直感でけっこうです。年齢を聞く必要はありません。
- <職業>
無職女性（家庭の主婦など）が圧倒的に多いので、学生でもなく、仕事についている話もでなければ〔3 無職〕にして下さい。
- <市町村名>
話のなかで明らかに札幌市外、道外とわかる場合以外は、直感で「多分札幌市内であろう」という判断でかまいません。
- <相談内容>
あれこれ複数の内容を話す人や、はっきりした相談がなくてとりとめなく話している人も多くみられます。
そういう場合は「しいて言えば」ということで一つ選んで下さい。
- <診断>
話しの中で明らかにされた診断名を記載します。医師以外の相談員は、「13 診断保留」の場合がほとんどかと思えます。
- <相談対象者の印象>
7～8割は、自分自身のことの相談ですので、かけている人の印象と通院しているなど話の内容から判断してつけて下さい。
自分以外の人のことでの相談であれば、話の内容から把握しやすいと思えます。
- <相談のきっかけ>
話の中で明らかになった場合、きっかけを記載してください。
- <担当者名>
自分の名前を記入してください。
- 薬物相談は薬物の種類を自由記載部分に記載してください。
- 経済情勢について記載してください。